

淑徳大学 大学院 2027

看護学研究科 看護学専攻



淑徳大学
1号館

本大学院は、建学の理念に則り、
深奥なる学術の理論及び応用を研究教授し、
また研究能力を養い、
もって人類の文化と福祉の増進に
貢献することを目的としています。

教育 研究目標

淑徳大学の建学の精神に基づき、
人々の健康と安寧のため、地域社会
の保健・医療・福祉の向上を目的と
し、看護に関する実践や教育・研究
活動に、高い理想と広い視野、そし
て深い洞察力を備えて携わり、保健・
医療・福祉の発展に寄与する人材
を養成します。

また、看護学に関する専門的な知識
を修得し、その学びを社会的・学問
的要請に応じて適切に適用し、展開
する研究能力を培い、これらを基盤
として、地域社会の保健・医療・福
祉の発展に資する実践的な運用力を
養うことを教育目標とします。

人材養成の目的

1 研究職や教育職をめざす人材の育成

看護研究の基礎的知識を持ち、看護現象を適切な研究方法に基づいて科学的に探究し、創造的に新たな看護実践の開発を行い、看護基礎教育を担うことのできる、優れた教育能力と科学的な研究能力を備えた看護研究者・教育者を養成します。

2 実践現場で活躍する指導的看護職者の養成

臨地・臨床実践の中で抱いた問題意識や実践の根拠について、科学的に探究し、その成果を看護現場に還元することによって、より良い看護実践の開発に貢献できる指導的看護職者を養成します。

3 看護管理者の養成

看護管理に関する専門的な知識を身につけ、それらを駆使して組織運営を実践し、看護職者間においてリーダーシップを発揮するとともに、多職種と積極的に連携・協働することができる研究能力と教育能力を備え、高度なマネジメント能力を持つ看護管理者を養成します。

アドミッションポリシー

- 1 看護学分野に関するより高度な専門的知識と応用的能力を修得するという明確な目標を持ち、看護学分野に対する強い興味と関心並びに学修意欲を有している。
- 2 看護学分野の基礎的な知識及び基本的な技術と態度を学士課程教育等で修得し、高度な研究・実践能力を開発するための基盤を身に付けている。
- 3 より深く、広い視野から研究課題を追究していくための看護学の基本的視点を持ち、物事を多面的かつ論理的に考察し、適切に判断することができる。
- 4 地域社会の保健・医療・福祉の発展及び人材育成の一翼を担おうとする明確な目標を持ち、自分の考えを的確に表現し、相手に確実に伝達することができ、看護専門職としての資質・適性に優れている。

保健・医療・福祉の実践をいかした発展的な学修をめざす

少子高齢化が進み、複雑化する現代の医療において、人々の様々な健康ニーズに対応する保健医療専門職としての看護職に寄せられる期待は大きくなっています。

本学看護学研究科は2016年に開設され、着実に修了生を輩出してきました。

「看護管理者として自分はどうあるべきなのか考えたい」「看護師としての活動をカタチにしたい」「経験だけではなく科学的根拠を持ちたい」「自分の看護を振り返りたい」など、実践の中で漠然とした問題意識を持って入学してきた方々が、問題意識ととことん向き合い、Research questionを明確にし、看護実践現場に活用できる修士論文を作成しております。

本学大学院は、建学の理念に則り、深奥なる学術の理論および応用を教授し、研究能力を養い、もって人類の文化と福祉の増進に貢献することを目的として設立されました。本研究科は、じっくり物事を考える時間と環境を提供します。個々の院生に応じたきめ細かな研究指導の他、奨学金、社会人大学院生のための3年制長期コースなどを設け、大学院生の研究活動を全面的にサポートしています。遠方から修学できるように、オンラインでの授業や研究指導を積極的に活用し、大学院生の状況に合わせて臨機応変に対応しています。

2023年度からは、医療機関と本学大学院看護学研究科との連携と交流を推進し、双方が有する資源を最大限に生かすことで、教育・研究活動の振興と高度の看護に関する専門職の人材養成、健康福祉の増進をめざす取り組みを開始しました。本学大学院看護学研究科と連携協定を締結した病院からの入学希望者には指定病院入試を適用します。

本学には総合福祉研究科との合同授業もあります。より広い視野を持ち、深く洞察できる力を養いながら、看護の実践現場に活かせる研究と一緒に取り組んでみませんか。



岩崎 紀久子

Kikuko Iwasaki
淑徳大学大学院
看護学研究科長
看護栄養学部看護学科
成人看護学教授

看護学研究科ゼミ紹介

看護管理学



看護管理はいつ誰が行うものであるのかを考えたとき、現在の立場やこれまでの実践経験から大学院で学ぶことに対して敷居の高さを感じる方もいるかもしれ

ません。しかし、看護管理の学問的思考は対象者のWell-being(健康や幸福)を実現するために全ての看護専門職にとって必要な知識とされており、個々が主体的に実践していくことと位置づけられています。

看護管理学ゼミでは、看護の質向上への組織管理、職場定着に向けた人材管理やキャリアマネジメントなどに着目して研究を行っています。多様な背景をもつゼミ生同士が互いの実践例を照らし合わせながら切磋琢磨することで、多くの気づきに支えられつつ楽しんで研究疑問と向き合っています。看護管理者として現在まで実践に携わっている方も、これから実践を担っていく方も、共に看護管理の視点から新たな知見を探求していきましょう。

老年看護学

老年看護学の対象は65歳以上の高齢者です。100歳以上の方もいるので年齢層は幅広く、元気で仕事をしている方もいれば、日常生活に他者の支援が必要な方もいること、また個々の生活歴や価値観は多様であることが特徴です。高齢者は加齢による心身機能の低下に加えて、治らない慢性疾患を抱えながら生活をする方が多くいらっしゃいます。いずれ訪れる、誰も避けられない死に向かって、最期まで自分らしく生きることを支えるのが老年看護の役割だと考えています。

そのため、大学院では老年看護の目標である①高齢者の豊かな生の創出・支援、②生かし生かされる地域づくり、を達成するために、大学院生の臨床経験や近年の高齢者施策やケアから研究テーマを設定するサポートをします。そして、老年看護の実践に必要な理論や概念を学び、最期まで自分らしく生きることを支えるための看護実践について、研究を通して理解を深めていきます。



在学生・修了生の声

在学生の声



石毛 紗智さん
修士課程2年生

北海道在住オンライン院生3年目です。講義・研究共に皆様の協力を得て楽しく進められています。オンライン院生ならではの、インターネットを活用した意見交換や研究の進め方を学ぶことができ、看護学を深めると共に現代の研究も学んでいます。また、年数回のスクーリングは直接の意見交換ができる貴重な機会として活用でき、日々は地元いながら研究を進められます。地元で大学院がなくとも学べる機会です。是非、一緒に学びませんか？

在学生の声



小椋山 光晴さん
修士課程2年生

私は10年近く病棟看護師として臨床経験を重ねる中で、経験だけでは超えられない壁を感じるようになりました。そこで、看護師になってから改めて大学に戻り、学び直すことで、自分の看護をもっと広げたいとの思いで、大学院への入学を決意しました。親身に関わっていただける先生方に支えられ、様々な経験をもつ院生たちに刺激を受ける日々です。授業を通じて、これまでの自分の視野の狭さに気づき、より広い視点で看護を考えられるようになったと成長を実感しています。いつか、この学びを患者さんへ還元していきたいと考えています。

修了生の声



中村 真也さん
2025年度修了生
〔現職〕
淑徳大学
看護栄養学部
看護学科助手

病棟看護師として働く中、がん患者さんとの関わりで倫理的な葛藤を感じながらも、忙しい日々の中では自身の看護実践を深く振り返ることが難しい状況でした。そんな時、学術的な視点から看護を見つめ直したいという思いが高まり、大学院への進学を決意しました。在学中は意思決定支援をテーマに研究に取り組み、指導教員のご指導や仲間との対話を通じて、臨床では気づけなかった視点を数多く得ることができました。現在は本学看護学科の成人看護学領域で教員として勤務し、大学院で培った研究的思考を教育研究に活かしています。今後も学生と共に探究心を忘れず、学び続けていきたいと思っています。

修了生の声



2025年度修了生
渡辺 真澄さん
〔現職〕
淑徳大学
看護栄養学部
看護学科助手

私は行政保健師として母子保健に携わる中で、家族全体を支えるための支援をより深く学びたいと思い、大学院に進学しました。仕事と家庭を両立しながらの学修は大変でしたが、実践経験をもつ仲間と励まし合い、研究にじっくり向き合うことができました。現場で抱いていた疑問を科学的に整理し、根拠をもって語る力を得られたことは大きな財産です。現在は地域看護学の教員として学生と向き合い、大学院で培った視点を教育に活かしています。これからも研究を続け、地域の現場に役立つ知見を積み重ねていきたいと考えています。



淑徳大学大学院

看護学研究科看護学専攻 修士課程

〒260-8703 千葉市中央区仁戸名町673 淑徳大学千葉第二キャンパス TEL 043-305-1881

〔JR千葉駅までのアクセス〕

- 東京から ▶ JR横須賀線・総武線快速で…39分
- 横浜から ▶ JR横須賀線・総武線快速で…71分

- JR千葉駅よりバス(東口2番のりば)「鎌取駅」「誉田駅」行きにて約20分、「ジェイコー千葉病院」下車
- 京成電鉄大森台駅より徒歩18分(千葉東病院内経由)
- JR蘇我駅より、無料のスクールバスで約15分

カリキュラム Curriculum

看護学研究科看護学専攻修士課程では、本学の建学の理念である「大乘仏教の精神に基づき、社会福祉の増進と教育とによる人間開発・社会開発に貢献する人材の育成」を教育の基本に据え、地域社会の人材需要や大学院進学希望者の進学需要を踏まえて、看護学分野における教育内容を絞り込んだ教育課程として編成しています。具体的には、看護学分野に関するより高度な専門的知識と応用的能力を獲得するとともに、看護学研究に必要な手法や能力を身につけることにより、看護の実践と研究の推進、人材育成を行いうる人材を養成します。

科目編成

「基礎科目」、「看護展開科目」、「看護管理科目」、「地域連携・協働科目」、「研究指導科目」の各科目群を設け、高度な専門性を有した人材として必要となる理論的知識と応用的能力を体系的に身につけることが可能となるよう教育課程を編成しています。また、自己の研究領域とその関連領域についても同時並行的に履修できるように編成しています。本学大学院総合福祉研究科社会福祉学専攻および心理学専攻修士課程に配置されている授業科目を、4単位まで課程履修要件の単位数に算入することができます。

基礎科目「保健医療福祉学特論」、「看護学研究特論」、「看護倫理学特論」の8単位を必修とし、その他体系的に課程を履修し、修了時に「看護学特別研究」8単位を含む、30単位以上を修得。所定の研究指導を受けて、修士論文を提出の後、論文審査及び口頭試問による試験に合格することにより、修士(看護学)の学位が授与されます。

授業科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	
			必修	選択
基礎科目	保健医療福祉学特論	1前	2	
	看護学研究特論	1通年	4	
	看護倫理学特論	1後	2	
	看護政策学特論(福祉医療政策特論)	1・2後		2
	看護教育学特論	1・2後		2
	ターミナルケア(看取りをめぐる諸問題)	1・2前		2
	臨床ケア論	1・2前		2
	病理病態学特論	1・2後		2
看護展開科目	基礎看護学特論	1前		2
	基礎看護学演習	1後		2
	小児看護学特論	1前		2
	小児看護学演習	1後		2
	母性看護学特論	1前		2
	母性看護学演習	1後		2
	成人看護学特論	1前		2
	緩和ケア特論	1前		2
	成人看護学演習	1後		2
	老年看護学特論	1前		2
老年看護学演習	1後		2	
看護管理科目	看護管理学特論	1前		2
	看護管理学演習	1後		2
地域連携・協働科目	精神看護学特論	1前		2
	地域看護学特論	1前		2
	地域・精神看護学演習	1後		2
	公衆衛生看護学特論	1前		2
	公衆衛生看護学演習	1後		2
研究指導科目	看護学特別研究	1・2通年	8	

一部変更になる場合があります。

基礎科目

看護学を発展させる基盤となる科目として、保健、医療、福祉にかかわる各専門職の連携・協働のあり方を検討する科目、看護研究に関する研究手法や研究能力を修得する科目、看護実践の場における倫理的判断や倫理的課題に介入できる能力を高める科目を必修とし、他を選択科目としています。

■保健医療福祉学特論	保健、医療、福祉にかかわる各専門職の連携・協働のあり方を検討する。
■看護学研究特論	研究者や教育者にも、指導的看護職者や看護管理者にも共通的に求められる看護研究に関する研究手法や研究能力を修得する。
■看護倫理学特論	看護現場における倫理的判断や倫理的課題に介入できる能力を高める。
■看護政策学特論(福祉医療政策特論)	看護政策をめぐる諸課題や政策決定過程を理解する。
■看護教育学特論	学生や看護師への看護教育及び患者や家族への指導に関する知識と能力を高める。
■ターミナルケア(看取りをめぐる諸問題)	終末期の患者に対して身体的苦痛や精神的苦痛を緩和・軽減するための総合的な措置や看取りをめぐる諸問題についての理解を深める。
■臨床ケア論	理性と感性の関係、聴ける、見えるという援助者のケアの実践力を育てる。
■病理病態学特論	看護実践の質を高めるために必要となる病態に関するアセスメント力を高める。

看護展開科目

看護学における専門領域ごとに高度な専門的知識と応用的能力を身に付けるための「特論」と、各看護援助に関する最新の知見や動向に関する理解を深め、看護の対象の特性や看護の場面に応じた現象を科学的に探究するための「演習」を選択科目として配置しています。

■基礎看護学特論	看護学の基本的かつ主要な概念や看護理論と看護実践に必要な基礎看護技術の展開や体系化に関する能力を高める。
■基礎看護学演習	
■小児看護学特論	小児看護、母性看護、成人看護及び老年看護に関する高度な専門的知識と応用的能力を身につける。
■母性看護学特論	
■成人看護学特論	
■緩和ケア特論	
■老年看護学特論	
■小児看護学演習	各看護援助に関する最新の知見や動向に関する知識を深め、看護の対象の特性や看護の場面に応じた現象を科学的に探究する。
■母性看護学演習	
■成人看護学演習	
■老年看護学演習	

看護管理科目

看護におけるマネジメントについての能力を高めるための「特論」および「演習」を選択科目として配置しています。

■看護管理学特論	看護専門職の役割と看護の質保証や看護師としての自律と協働、キャリア開発、チームアプローチ、人的資源管理など、看護におけるマネジメントについての能力を高める。
■看護管理学演習	

地域連携・協働科目

地域の保健・医療・福祉分野における多職種連携・協働に関する高度な専門的知識と応用的能力を身につけるための「特論」と、各看護援助に関する最新の知見や動向に関する理解を深め、看護の対象の特性や看護の場面に応じた現象を科学的に探究するための「演習」を選択科目として配置しています。

■地域看護学特論	地域で生活する人々の健康の維持・増進を図るための専門的知識と応用的能力を身につける。
■精神看護学特論	
■公衆衛生看護学特論	
■地域・精神看護学演習	各看護援助に関する最新の知見や動向に関する理解を深め、看護の対象の特性や看護の場面に応じた現象を科学的に探究する。
■公衆衛生看護学演習	

研究指導科目

各自の看護に関する課題を見出し、自らの研究課題について科学的に探究する能力を養うための「看護学特別研究」を必修科目として配置しています。

■看護学特別研究	各自の看護に関する課題を見出し、自らの研究課題について科学的に探究する能力を養う。1年次後期より一貫した演習形式による研究指導を行い、研究成果を修士論文として完成させるまでのプロセスを指導する。
----------	---

科目等履修制度

科目等履修生を受け入れています。履修単位は年間4単位を上限とし本研究科の単位として認定します。2027年2月頃に開講科目を発表する予定です。

■科目等履修生の学費	入学金：10000円 授業料：15000円/1単位
------------	------------------------------

教員紹介

看護学研究科教員

基礎看護学分野	坂下 貴子(教授) 長坂 育代(教授) 牧野 美幸(教授)
看護管理学分野	中村 幸代(准教授)
成人看護学分野	岩崎 紀久子(教授) 佐佐木 智絵(教授) 井上 菜穂美(准教授)
老年看護学分野	岡本 あゆみ(准教授)
小児看護学分野	小川 純子(教授) 伊藤 奈津子(准教授)
母性看護学分野	篠原 良子(教授)
地域看護学・公衆衛生看護学分野	公衆衛生看護学 渡邊 多恵子(教授) 精神看護学 原田 浩二(准教授)
医学分野	林 雅晴(教授)

※他研究科の教員が担当する科目もあります。
各担当教員の科目や看護学研究科の教育内容、入試案内などの情報は下記URLまたはQRコードからご確認ください。



<https://www.shukutoku.ac.jp/academics/kango/>

入試概要

		事前相談申込期間(必着)	事前相談日	出願期間(必着)	試験日	合格発表日
一般・推薦・指定法人	第1回	2026年8月17日(月)～8月28日(金)	2026年9月11日(金)まで	2026年9月18日(金)～9月25日(金)	2026年10月3日(土)	2026年10月6日(火)
	第2回	2026年11月30日(月)～12月18日(金)	2027年1月8日(金)まで	2027年1月15日(金)～1月22日(金)	2027年1月30日(土)	2027年2月2日(火)
	第3回	2027年1月12日(火)～1月22日(金)	2027年2月5日(金)まで	2027年2月12日(金)～2月19日(金)	2027年2月27日(土)	2027年3月2日(火)

※入学定員に達した場合は、第3回入試を実施しない可能性があります。
※一般入試、推薦入試、指定法人入試ともに、出願に先立ち事前の面談・相談があります。
※入学試験は、淑徳大学千葉第二キャンパス(千葉県中央区仁戸名町673)で実施(集合時間、試験室等は、受験票により案内)します。
※看護系の短期大学、専修学校、各種学校等を卒業・修了された方は、入学資格認定審査を受ける必要があります。出願を希望される方はお問い合わせください。
ただし、下記のいずれかの条件を満たしている場合は、大学を卒業した者と同等の資格があると見なされます。
1. 保健師もしくは助産師の資格を有する者 2. 看護教員養成課程(6ヶ月以上の卒後研修コース)を修了した者 3. 認定看護師もしくは認定看護管理者の資格を取得した者

1 学際融合による講義を開講

総合福祉研究科とのコラボレーションによる授業を開講しています。総合福祉研究科学生とのディスカッションによる学際融合の知見を見いだすことをめざします。

※総合福祉研究科の修士課程に配置されている授業科目については、4単位まで修了要件の単位数に参入することができます。



2 オンライン・ハイブリッド型授業の展開

大学院生専用の共同研究室を設けて、研究活動の環境を整えています。また、オンライン・ハイブリッド型の授業や研究指導を積極的に取り入れ遠方にお住まいの方も働きながら学ぶ環境が整っています。



3 3年制長期コース併設

修士課程は本来2年制ですが、3年間の長期コースを併設しています。3年制長期コースでは、2年分の学費を3年間で分割納入することができます。

4 「認定看護管理者」の教育機関

公益財団法人日本看護協会が認定する「認定看護管理者」の資格を取得できる、看護管理学分野の科目を開講しています。

研究費補助

5

研究費補助研究活動のさらなる発展と学位論文作成を支援するため、年間最大10万円の研究費補助制度を設けています。学会発表や資料購入、調査・研究活動など、大学院での学びを経済面からサポートします。(申請制、2年間まで)

奨学金制度

本学奨学金

- 特別給付奨学金
模範生たるにふさわしい学生に対し、年度内の授業料相当額を給付。
- 一般給付奨学金
人物、学業成績が優秀で、学費の納入が困難とみなされる学生に、年度内の授業料の半額(若しくは1/4)を限度に給付。
- 貸与奨学金
人物、学業成績が優秀で、学費の納入が困難とみなされる学生に、年度内の授業料の半額を限度に貸与。修了後10年分割で返済(無利息)。

日本学生支援機構(JASSO)の貸与奨学金

- 第一種(無利息) ■ 第二種(利息付き)

医療機関との連携協定

7

看護学研究科と医療機関との連携と交流を図るために連携協定を結んでいます。連携機関からの受験生は、指定法人入試として試験が一部免除されます。
協定機関：船橋市立医療センター、総合病院 土浦協同病院、国立病院機構 千葉医療センター 千葉東病院、JCHO千葉病院(2026年6月現在)

淑徳大学大学院看護学研究科に期待すること

船橋市立医療センター 看護局長 山田 綾子

少子高齢化と医療の複雑化が進む中、大学院看護学研究科が実践と研究を結びつけ、現場の課題解決に貢献できる高度な看護人材の育成拠点として、今後も一層発展されることを期待しています。



総合病院 土浦協同病院 副院長兼看護部長 宮本 佳代子

淑徳大学大学院看護学研究科と当施設は連携協定を結び、5年目を迎えます。現在、2名の看護師が仕事と両立を図りながら、学修に励んでおります。日々の実践の中での疑問や問題意識を探索し、看護の質向上と自身のキャリアアップにつなげてほしいと願っております。



独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター 千葉東病院 看護部長 中山 智子

淑徳大学大学院看護学研究科と当院は連携協定を結び、実践と学びが両立できる環境にあります。高度で実践的な看護研究能力の育成と、臨床課題を解決できる人材の輩出、また、地域医療への貢献やエビデンスに基づく看護実践のさらなる発展に寄与して頂くことを期待します。



独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院(JCHO千葉病院) 看護部長 石田 智恵子

大学院での学びは臨床現場で培った経験をもとに、看護実践と学びを統合させて研究能力を高める貴重な機会です。そして、病院と大学の連携は複雑化する医療の課題解決に向けた人材育成や看護の質向上に向けて、とても有益な取り組みと考え期待しています。



学費

入学対象	項目	入学金	授業料	施設維持費	小計	傷害保険料	協賛会入会金	協賛会年会費	同窓会入会金	小計	合計
入学対象	本学卒業生	免除	800,000	100,000	900,000	4,950	-	20,000	-	24,950	924,950
	他大学卒業生	200,000	800,000	100,000	1,100,000	4,950	20,000	20,000	15,000	59,950	1,159,950
	3年制長期履修	200,000	534,000	67,000	801,000	6,150	20,000	20,000	15,000	61,150	862,150

※2025年度の参考金額です。 ※傷害保険料は、予定であり変更となる場合があります。